

特別活動 「手話教室」

愛川町立田代小学校



単元（題材）目標

神奈川県手話推進計画(5年間計画)をふまえ、手話を知り使うことで、手話への理解を深めることにつなげる。手話を使って生活している人たちの言語や文化に対する理解を深める機会とする。

(1) 実施時期

11月6日（月）

(2) 対象（学年等・人数）

第2学年1組 24名

(3) 指導者（教諭・外部講師等）

外部講師：町内ボランティア 5名 町社会福祉協議会 1名 本校教諭 3名

(4) 実施内容

- ◎ 聴覚障がいの方から「これは何でしょう？」と手話をしていただきながら、単語を当てる。
 - ◎ 手話体験(学級全体)
 - ・講師1名(聴覚障がいの方)、ボランティア4名、社会福祉協議会職員1名
 - ・簡単なあいさつ
 - ・「まあるいいのち」の歌の練習
- 手話は動作と表情を上手に使い、表現することが大切ということを学んだ。

(5) 成果

- 聴覚障がいの方が一人参加してくださったことで、コミュニケーションツールとしての手話体験ができ、「手話とは目で見える言語」であることの理解を深めることができた。
- 手話の学習を通して、多言語が共生する社会の一員としての広い視野を持てる機会となった。

(6) その他

- 保護者にも参加していただけるように、学校へ行こう週間に実施したところ、保護者数名の参加があった。
- 人権福祉週間中のピアノコンサートで歌う「まあるいいのち」の手話を練習した。